



SPECIAL **拡大版** **なごみ日和** THANKS  
Vol.7  
by 和歌山地域おこし協力隊

こんにちは、米川です。今回のなごみ日和は、拡大版をお届けします。ご存じの人もいらっしゃるかもしれませんが、私は11月末で任期満了を迎え、和歌山地域おこし協力隊を卒業しました。3年という任期はあっという間で、今でも着任当時の事が最近のように思われます。

「接客は社会貢献です」これは、私が東京に住んでいた頃に当時の上司から新人時代に言われた言葉です。販売員をしていましたが、物を売ることが「社会貢献」だなんて考えたこともありませんでした。今思うと、一生懸命やっていたつもりでも、どこか適当な部分を上司に見抜かれていたのだと思います。

さて、接客業だけが社会貢献でしょうか。いいえ、きっとこの世に存在するどんな仕事も社会貢献なのです。業種、業界、雇用形態、肩書き、関係ありません。誰かが必要としていることを誰かが行うことで仕事は生まれ、サービスが還元された結果、社会貢献になるのです。

地域おこし協力隊も同じです。地域や住民が必要としていることを考え、地域に還元することが協力隊の社会貢献となります。

「商品開発」という重点業務を与えられた私は、これをどう社会貢献に繋げるのか日々悩みました。自分がやろうとしていることが、和歌山にとって、町民の皆さんにとって、本当に正しいのか分からなくなることが多かったのです。

協力隊には初任者研修というものを総務省が用意しています。そこでOBOGの先輩方から「行動の動機を、地域もしくは住民に置き換えて考えてください」ということを教わりました。自分がアクションを起こすことで地域はどうなるのか、住民はどうなるのか忘れてはいけませんよ、ということです。3年の任期中、何度この教を頭の中で考えたでしょう。「商品開発することで地域がどう変化し、住民の皆さんが何を感じるのか」少ない頭を使っていつもシュミレーションしていました。

さて、その3年の結果がどうであったかは皆さまに評価していただくとして、最後に一番お伝えしたいのは、未熟者の私を受け入れ、ご指導賜り、時に厳しく、ただどなたかかか接して下さって「ありがとうございます」ということです。

たくさんの人と出会い、共に時間を過ごし、信じられないくらい充実した3年間でした。いだてんのように走り抜けた3年間でした。人生の中でこんなに好きな仕事に出会えるなんて思ってもいませんでした。地域おこし協力隊というのは名ばかりだったかもしれません。皆さんに与えてもらってばかりの毎日でした。今、全国には6,000人近くの協力隊がいるそうです。私は胸を張って言えます。きっと私が日本で一番幸せな隊員だったと。

これからは一住民としてこの町で暮らしていく予定です。そしてどうか、私にしてくださったように後輩隊員へのご指導と応援をお願いします。

この町で協力隊になれて本当に良かった。和歌山の皆さん、ありがとうございました！

令和元年11月30日 米川博子



**和歌山地域おこし協力隊 活動報告会**

とき：12月8日(日)午後1時～  
ところ：旧神尾小学校体育館

私たちに会いたいと思います。皆さまのお越しをお待ちしています！



未来に向かって輝け!

**わが町のがんばる企業!**

～和歌山企業等懇話会 企業訪問～

今回も和歌山の魅力たっぷり！優れた技術を持つ企業さんを取材しました！

和歌山企業等懇話会は、町内企業の繁栄と町の発展のために、現在25社の会員企業が加入、さまざまな交流活動を行っています。今回は、会員企業の日本テック株式会社を訪問しました！



**日本テック株式会社**  
(和歌山津田 3115-1)

すごい技術が和歌山にありました！  
日本テック株式会社は、津田地区から岩地区に続く町道沿いにあります。  
私は、日本テック株式会社を訪れるまでは、「瓦専用土」を製造されていることしか知りませんでした。製造されている製品は、屋根瓦の専門材で、屋根瓦と屋根を固定する材料です。  
製品は、用途に合わせて9種類以上あります。主に石灰を主成分とした純白の「二発くん」と、黒色の「南蛮くん」を製造していて、他にも粘土瓦専用の粘土を原料として製造した「屋根土」などを製造されています。  
製品の技術力はとても高く、2つの特許を取得されています。  
製品は、山口県から九州全域で販売されています。

製造工程を全てオートメーション化されていて、「原材料の供給」「計量」「投入」「かくはん」から「袋詰め」「袋閉じ」、その後、「袋の成型」、パレットに積み込むまで、全部機械やロボットが行っていました。  
この製造ラインは、完成まで2年間を費やしたそうです。それまでは5人の手作業で製造していましたが、現在では2人で機械の補助的役割で製造できるようになったそうです。  
実際、製造工程を見ましたが、次から次へと製品が製造されて、時間が経つのを忘れてしまいました。この機械は、フル稼働で1日に3千6百袋が生産できるという優れたものです。  
このフルオートメーションの機械は、日本全国でも日本テック株式会社しかないという貴重な機械です。  
これまでの苦労を伺うと「製品の良さと製品が硬化するまでの原理を立証するのが大変でした」と振り返って語る清江邦廣社長。  
また「うちの製品は、二酸化炭素を吸収する環境に優しい製品です。人間でいうと、年間で約1万4千人が排出する二酸化炭素を吸収し、車では、年間約2千台分の二酸化炭素を吸収します。ぜひ環境を良くするために、わが社の製品を使ってほしい」とも話されました。  
和歌山の人口以上の二酸化炭素を吸収できるって本当にすごいことだと思います。  
また、シュレッダーで粉砕された紙も材料に使用されており、日本テック株式会社の地球環境への取組に感銘を受けました。  
わが町にもこんな素晴らしい技術を持つ会社があることを改めて誇りに思いました。  
(取材まちづくり推進課・居石)

＜求人案内＞  
日本テック株式会社では正社員を募集しています。希望する人は、下記までご連絡ください。  
電話：0968-34-2265(総務担当)

～きらり★輝くなごみびと～



日本テック株式会社  
やまもと けんじ  
**山本 健二**さん  
製造を担当しています！



製造ラインの一部



商品の一部(紹介)

